

重要取組シート

上下水道局
経営企画室、水道部、下水道施設部

取組項目		信頼される上下水道への取組
現状・課題		■利用者からお預かりした料金の用途やその効果を発信することは、事業運営の説明責任を果たす役割の一つである。 ■利用者の声を、サービスの向上や業務改善に繋げる必要がある。 ■利用者が上下水道局からの情報を得るツールとして、広報さかい、局ホームページ、局 SNS 等を活用した情報発信に取り組んできたが、市政モニターアンケートの結果等からも、十分に認知されているとは言えない。 ■頻発化・激甚化する災害に備え、被災時に情報不足に起因する不安や不満が生じないよう、あらゆる情報を市民や利用者に提供し、様々な機会を通じて上下水道事業に関する知識を得られるよう努める必要がある。 ■公営企業としての社会的責任を果たすため、2050 年カーボンニュートラルの達成へ向け、脱炭素の取組をより一層推進する必要がある。 ■上下水道事業から排出される温室効果ガスは、市の事業の約 1 割を占めており、排出削減が求められている。
取組の内容		(取組 1) 利用者との信頼関係の構築 ■局の事業の目的や必要性を紹介する情報誌を全戸配布し、誌面内で利用者アンケート調査を実施 ■局が所有する各種広報媒体や機会を活用した、広報広聴の実施 (取組 2) カーボンニュートラルへの貢献 ■エネルギー使用量削減の取組や再生可能エネルギーの利用を促進し、カーボンニュートラルに貢献
スケジュール	前期 (～7月)	(取組 1) □ 広報企画委員会、広報広聴副主任会議 (～5 月) □ 情報誌の原稿作成 (～7 月) □ 1 学期出前教室及びまなび隊での啓発実施 (～8 月) □ 局 HP、SNS、すいりん等で、工事情報や断水事故等の情報発信 (通年・随時) (取組 2) □ 既存施設を有効利用した再生可能エネルギー創出事業の実施に向けた検討 (通年) □ 照明の LED 化工事の実施 (配水場、水再生センター) (通年) □ 省エネタイプの設備への改築更新工事の実施 (水再生センター) (通年) □ エネルギー使用量削減の取組の推進 (水再生センター) (通年)
	中期 (～11月)	(取組 1) □ 情報誌の発行、利用者アンケート調査 (10、11 月) □ 2 学期出前教室及び区民祭り等での啓発実施 (～12 月) □ 局 HP、SNS、すいりん等で、工事情報や断水事故等の情報発信 (通年・随時) (取組 2) □ 既存施設を有効利用した再生可能エネルギー創出事業の実施に向けた検討 (通年) □ 照明の LED 化工事の実施 (配水場、水再生センター) (通年) □ 省エネタイプの設備への改築更新工事の実施 (水再生センター) (通年)

進捗の状況		☐ エネルギー使用量削減の取組の推進（水再生センター）（通年）
	後期 （～3月）	（取組1） ☐ 利用者アンケート調査の結果分析、次年度広報広聴活動の方向性を検討（～3月） ☐ 局HP、SNS、すいりん等で、工事情報や断水事故等の情報発信（通年・随時） （取組2） ☐ 既存施設を有効利用した再生可能エネルギー創出事業の実施に向けた検討（通年） ☐ 照明のLED化工事の実施（配水場、水再生センター）（通年） ☐ 省エネタイプの設備への改築更新工事の実施（水再生センター）（通年） ☐ エネルギー使用量削減の取組の推進（水再生センター）（通年）
	次年度以降	（取組1） ☐ アンケート結果を受けて、次年度の広報広聴の方向性を決定する ☐ 局HPの簡易アンケートを定期的に確認し、利用者の声に反映する （取組2） ☐ 再生可能エネルギー創出事業の実施
	前期 （～7月）	（取組1） ☐ 広報企画委員会（5月）、広報広聴副主任会議実施（6月） ☐ 情報誌の原稿作成（8月） ☐ 1学期出前教室及びまなび隊での啓発実施（5～7月） ☐ 局HP、SNS、すいりん等で、工事情報や断水事故等の情報発信（通年・随時） ☐ 全国各地で有機フッ素化合物が検出されている問題等を踏まえ、市内給水栓における水質調査を実施し、局ホームページにて広報（5月） ☐ 対策チームを設置し、違算要因の分析・検証、再発防止策等を報告書に取りまとめ（5月） ☐ 厳格な確認ルールを導入、職員の積算事務能力の向上など、局全体で誤りの未然防止とチェック体制の強化を推進（5月～） ☐ 警察OB職員による課長級、課長補佐級職員等を対象とした不当要求発生事案に基づく公正職務確保研修の実施（7月） ☐ 局内での内部統制上の不備等の再発防止に係る定期的な自己点検の実施（毎月） （取組2） ☐ 再生可能エネルギー創出事業の実施に向けた手法の検討（通年） ☐ 照明のLED化工事の実施（配水場、水再生センター）（通年） ☐ 省エネタイプの設備への改築更新工事の実施（水再生センター）（通年） ☐ エネルギー使用量削減の取組の推進（水再生センター）（通年）

	中期 (～11月)	(取組1) ☐ 局内広報検討会議を設置し、各種情報発信ツールの目的・内容の精査及び発信結果を分析するなど、局内全体の情報発信スキルの向上を推進(9月～) ☐ 情報誌の発行(10、11月)、WEB アンケート調査(～12月)(予定) ☐ 2 学期出前教室及び区民祭り等での啓発実施(～11月) ☐ 有機フッ素化合物に関する報道等を踏まえ、局情報誌への掲載、局ホームページの更新、X で情報発信(随時) ☐ 局 HP、SNS、すいりん等で、工事情報や断水事故等の情報発信(通年・随時) ☐ 警察 OB 職員による課長級、課長補佐級職員等を対象とした不当要求発生事案に基づく公正職務確保研修の実施(11月) ☐ 局内での内部統制上の不備等の再発防止に係る定期的な自己点検の実施(毎月) (取組2) ☐ 再生可能エネルギー導入実績のある市へのヒアリング(通年) ☐ 照明の LED 化工事の実施(配水場、水再生センター)(通年) ☐ 省エネタイプの設備への改築更新工事の実施(水再生センター)(通年) ☐ エネルギー使用量削減の取組の推進(水再生センター)(通年)		
	後期 (～3月)			
2025 堺市基本計画	該当する 施策	4- (2) 市政への信頼獲得、ブランド力の向上に向けた戦略的広報の展開		
	寄与する KPI	—		目標値(2025 年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 13・16	気候変動に具体的な対策を 平和と公正をすべての人に	
	寄与する KPI	市域の温室効果ガス排出削減量(2013 年度比)		目標値(2025 年度) 19.0%